

■山田学区地域協働合校事業

(山田まちづくり協議会 次世代いきいきグループ)

1 【活動の趣旨】

山田に住む若者が、まちづくり活動を通して「生きる力」と「郷土愛」を育むことにより、将来のまちづくりの担い手に繋がる人材の育成を目指す。

2 【特徴的な活動内容】

1) 「クリスマスパーティ(リーダー研修会)」

山田学区子供会指導者連合会では、5、6年生がリーダーとなり、自ら企画・運営することで、リーダーシップを育むとともに、参加する小学生をもてなし親睦を深めた。

日時：12月13日(土) 13:00～16:30

参加者：小学生25名、大人9名

2) 「2025やまだアドベンチャーハウス」

中高大生を対象としたYCC(Yamada Challenger Club)を設立しYCC企画によるアドベンチャーハウスを実施。

日時：11月1日(土) 9:30～20:00

参加者：小学生22名、中高生11名、大人25名

活動内容：ミニ運動会、BBQ、度胸試し、かまど体験など

3) 「YCC企画 いちご狩りとパフェをつくろう」

YCCメンバーが自ら企画・運営を担い、同世代の中高大生を対象としたイベントを実施

日時：2月7日(土) 9:00～16:00

参加者：中高生14名、大人7名



【クリスマスパーティ】



【アドベン ミニ運動会】



【アドベン BBQ】



【YCC会議】

3 【実施に当たっての工夫】

YCC事業に主体的に関わる仕組みづくり

- 1) 学区外もOKにし、意欲のある若者を広く募集
- 2) やりがいの可視化。会員証を発行し活動を数値化
- 3) 有償ボランティア、インセンティブの仕組みを構築

4 【事業の成果】

- 1) 近年、小学校の運動会が縮小されていることから、「小学生に色々な種目を体験してほしい」と強く思いを持ち企画、運営に取り組んだ。
- 2) 参加者からは、「YCC」の活動に深い関心が示された。「自分も運営に携わりたい」「入会を検討したい」といった前向きな声が挙がり組織の持続的な拡大とコミュニティの活性化につながる確かな手応えを得た。

5 【事業の今後の展望】

活動の定着と継続。企画・広報の強化。若者が惹かれる魅力的な企画と、広報により、共感の輪を広げメンバー拡大。